

令和3年5月10日（月）



本日の6校時目、3年生以上が参加しての児童会総会が開催されました。運営委員会、報道委員会、さわやか委員会の各委員長から今年度の取組について提案されました。

今年度の児童会目標は、「あいさつで 笑顔あふれる 手ノ子小」です。①笑顔で、②自分から、③えしゃくをつけて、あいさつを頑張る取組に加え、飯豊町の福祉に役立てようと、アルミ缶集めにも取り組むことについて運営委員長から提案がありました。子ども達からは、

「去年は笑顔でなかなかできなかったので、この目標でいいと思う。」

「手ノ子小と言ったらあいさつだと思ふし、『笑顔あふれる』という言葉がとてもいいと思う。」
といった肯定的な意見が出されました。

校長からは、「児童会活動って何のために学習するの？」と問いかけ、近くにいる人と一緒に考えてもらいました。その後、先月行われたPTA総会や本で行われた後援会（三役会）を例に挙げ、

「大人になっても、地域や学校をよりよくするために自分達は何ができるかを集まって話し合い、役割を決めて活動している。皆さんも『小さな社会人』として、楽しい手ノ子小にしていくためにできることを考え、実際に活動してほしい。そして、計画通り進めるだけではなく、上手くいかないことやもっとよくなりそうなことを代表委員会等で話し合い、その後の活動にいかすことを繰り返してほしい。これは、創立記念式の時に話した『探究』の学習と似ている。」
ということを伝えました。

令和3年5月21日（金）



本日は1日雨の予報が出ておりましたが、午前8時の天候判断の前にコースの最終下見を行い、雨雲レーダーで午前中の雨雲の動きを確認し、予定どおり遠足を実施する判断をいたしました。登校してきた子ども達から、「このくらいの雨なら大丈夫です。行きたいです！」という答えが返ってきたことから、多少困難があった方が仲間との絆が深まり、より思い出に残る遠足になるのではないかと考えました。

2年生はスクールバスで中津川地区まで移動し、地域の方から「メープルシロップづくり」についてお話を聞いてから岩倉神社まで3.1Kmlほど歩き、社会教育課の方から「岩倉神社の由来」についてお話をお聞きしました。

3・4年生はスクールバスで旧中津川小・中学校まで移動し、校舎を見学してから岩倉神社まで

4.3Kmlほど歩き、社会教育課の方から「岩倉神社の由来」についてお話をお聞きしました。

5・6年生は、学校から白川湖展望広場まで歩き、昼食を食べて学校に戻る往復12.5Kmlのコースに挑みました。途中で、西高峰公民館で休憩し、地域の方から「高峰そば工場のそばづくり」についてお話を聞きました。6年生にとっては、昨年度新型コロナの影響で中止となった長距離に挑む遠足です。きつい上り坂や心細いトンネルの中では、マスク越しですが、お互いに声を掛け合い勇気づけながら歩いていました。

今回の遠足は、今年度の重点目標の「たくましさ」を育てるための、絆づくりに繋がる集団活動であるとともに、「社会力」を育むための地域の教育資源を活かした活動として、地域の自然や歴史、食に目を向ける良い機会にもなりました。地域学校協働活動推進委員のコーディネートにより、遠足の休憩先でお話をいただきました地域の方々、行政の方に感謝いたします。

令和3年5月25日（火）



人権擁護委員の方々と町の住民課生活環境室の職員の方々が来校してくださり、「人権の花運動」の花植え作業をロング昼休みの時間に行いました。

初めに、人権擁護委員の方々から、次のようなお話をいただきました。

「体育が得意な人もいれば、苦手な人もいる。人には様々な個性や違いがある。それらの個性や違いを認め合い、互いを思いやることが人権を守ること。花の種類が違ったり、色が違ったりするのも個性。みんな違ってみんないい。人を大事にするように、花の命も大事にすることで、みなさんの思いやりの心を育ててほしい。」

「人権という言葉は難しいけれど、みなさんの年代でいうと、いじめをしないこと・受けないことが人権。花を育てながらそのことを思い出してほしい。」

作業後の児童代表のお礼の言葉には、
「人権の花が人間と一緒に知って、しっかり花を育てたいと思った。」
という振り返りがありました。

本校の合言葉「【い】いのちを大切に」と「【お】思いやり」に繋がる「人権の花運動」。町から素敵なお花苗を一人3株ずついただきプランターに植えました。玄関前の階段に飾り子ども達自身の手で大切に育てていけるようにします。